

道路啓開とは、緊急通行車両の通行を確保するため、発災直後から道路上に堆積した土砂やガレキ等の障害物を除去し、段差を解消するなどして、被災地への救援ルートを切り開く作業をいいます。

令和6年能登半島地震では、人命救助やライフラインの早期復旧、孤立集落への交通確保のための道路啓開の重要性が再認識されました。これを踏まえ、令和7年に道路法を改正し、道路啓開計画が法定化されました。

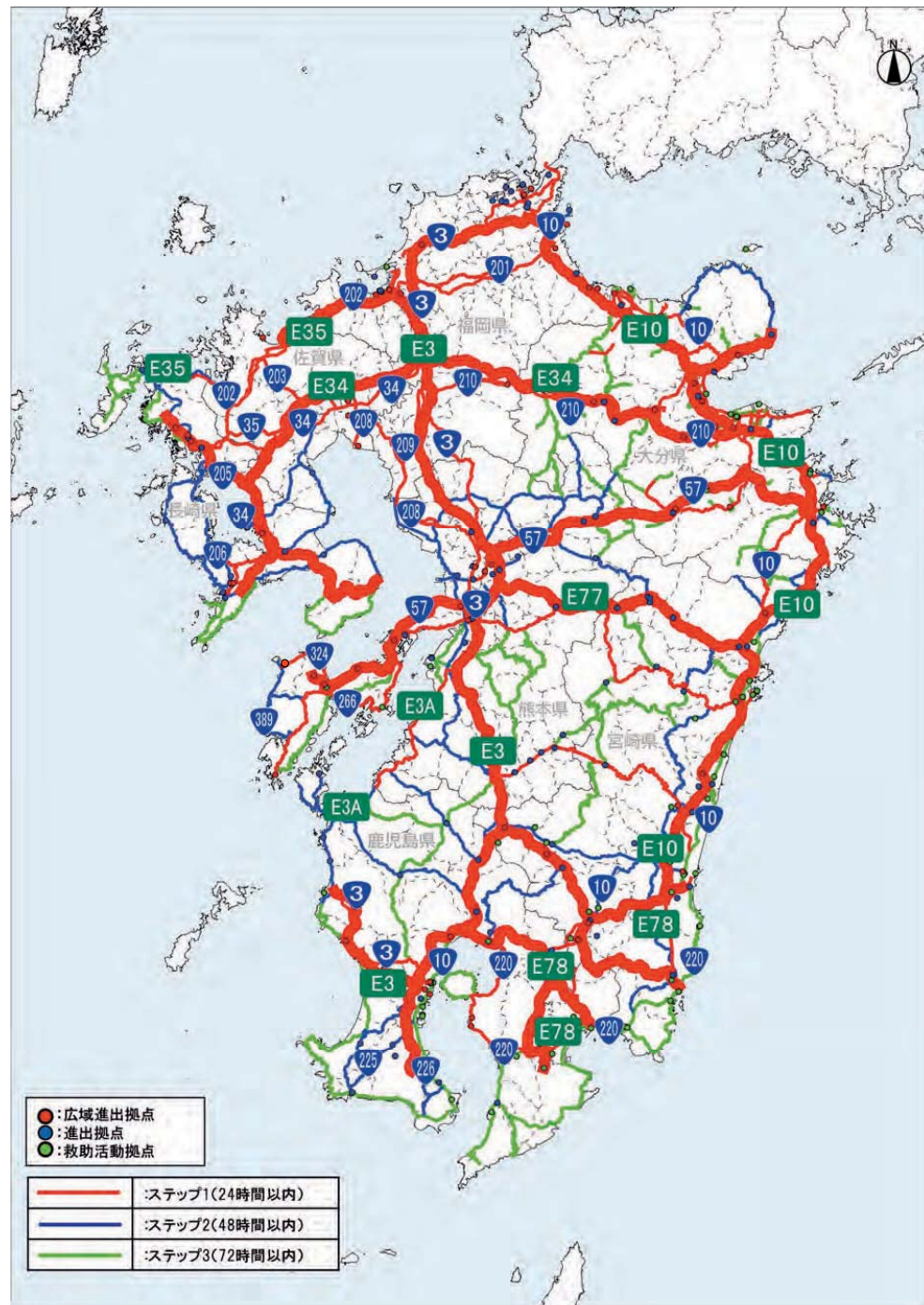
九州では、南海トラフ巨大地震の発生を想定し、関係機関との連携・協力により、九州圏域の道路啓開の実効性を向上させることを目的として、令和８年３月に「九州道路啓開計画」を策定しました。本計画では、「防災対策推進地域」において防災拠点を設定するとともに、発災後 72 時間以内の道路啓開を目標とし優先的に啓開すべき路線・区間を設定しています。

＜防災拠点＞

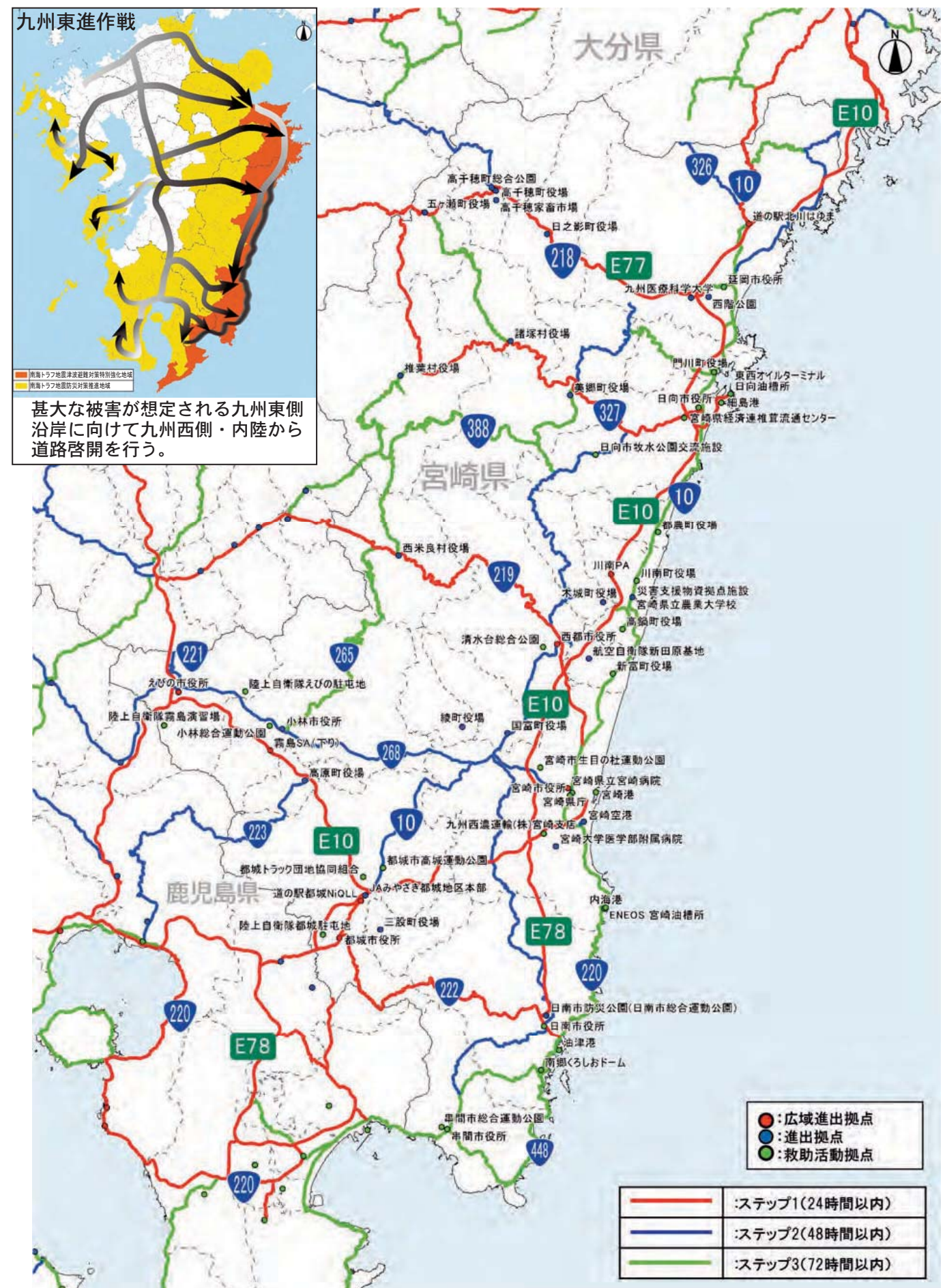
| 種別       | 拠点の役割                                    |
|----------|------------------------------------------|
| ● 広域進出拠点 | 災害発生直後、直ちに広域応援部隊が被災地方面に向かって移動する際の目標となる拠点 |
| ● 進出拠点   | 広域支援ルートから被災地（活動拠点）に向けた被災地進出を接続する防災拠点     |
| ● 救助活動拠点 | 被災地（津波浸水域内等）の啓開の拠点となる防災拠点                |

＜優先的に啓開する路線＞

| 種別                                                                                                         | ルートの役割・機能                        | 道路啓開目標           |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------|------------------|
| <b>ステップ1</b><br> 広域支援ルート  | 各部隊等の広域的な移動するためのルート              | 発災から概ね<br>24時間以内 |
| <b>ステップ2</b><br> 被災地進出ルート | 被災地内の活動に向けて、広域移動ルートと防災拠点を連絡するルート | 発災から概ね<br>48時間以内 |
| <b>ステップ3</b><br> 被災地内ルート  | 甚大な地震・津波被害等が想定される地域内のルート         | 発災から概ね<br>72時間以内 |



出典:九州地方整備局HP



出典:九州地方整備局HP